

I . 調査の概要

1 調査目的

この調査は、区政の課題について、区民の意識や意向を統計的にとらえ、今後の区政運営の基礎資料とするものである。

2 調査テーマ・内容

(1) 区の施策および評価について

- ・居住性の評価や定住意向
- ・区への愛着、誇り
- ・施策の満足度と必要性
- ・施策への要望
- ・区政情報の入手
- ・ねりま区報
- ・ねりまほっとライン
- ・情報提供サービス、オンラインサービスの満足度

(2) 災害時の避難について

- －震災について－
 - ・居住地域の大きな地震（震度5弱以上）に対する危険度の認識と心配する点
- －住まいの耐震化について－
 - ・住まいの建物の構造と建築年月
 - ・旧耐震基準の住まいの耐震化
- －室内の安全対策について－
 - ・室内の安全対策の実施状況
- －備蓄について－
 - ・飲料水・食料品の備蓄
 - ・日用品等の備蓄
- －防災用品のあっせんについて－
 - ・防災用品のあっせんの利用状況
- －震災時の対応について－
 - ・家族との連絡方法
 - ・停電となった場合の情報収集方法
 - ・避難する基準と避難手段
- －「在宅避難」について－
 - ・『在宅避難』の選択と不安な点
- －地域での防災活動への取り組みについて－
 - ・地域の防災訓練・防災講座などの参加状況
 - ・震災時に協力できると思う地域の活動

3 調査設計

- (1) 調査地域 …………… 練馬区内全域
- (2) 調査対象 …………… 練馬区在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 …………… 3,000サンプル
- (4) 対象者抽出方法 …… 層化二段無作為抽出法
- ①層化 …………… 郵便番号に基づき、練馬区内を「5 地区区分（5 ページ）」に示すように4地区に区分し、それぞれを層とした。
- ②標本数の配分 …………… 各層における満20歳以上の人口数（令和元年8月1日現在）により、「6 地区区分別回収状況（6 ページ）」に示すように3,000の標本数を配分した。
- ③地点抽出 …………… 調査地点の抽出数は、1調査地点の標本数が10になるように、各層に配分された標本数より算出し、決定した。
調査地点の決定については、層ごとに、
- $$\frac{\text{層における人口数}}{\text{層で決定された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
- を算出し、等間隔抽出法によって、対象者抽出のための各調査地点の起算番号を算出した。
- ④対象者抽出 …………… 練馬区住民基本台帳に基づき、各調査地点の起算番号目に出現する人を第1番目の抽出対象とし、以下各調査地点において一定の抽出間隔で10人に達するまで系統的に抽出し、計3,000サンプルを抽出した。
- (5) 調査方法 …………… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- (6) 調査期間 …………… 令和元年9月2日（月）～9月25日（水）
- (7) 調査機関 …………… 株式会社 総合企画

4 回収状況

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	616,987	3,000	1,089	36.3%

※令和元年8月1日現在

<参考> 平成30年度回収状況 ※調査設計は令和元年度と同じである。

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	610,737	3,000	1,208	40.3%

※平成30年8月1日現在

5 地区区分

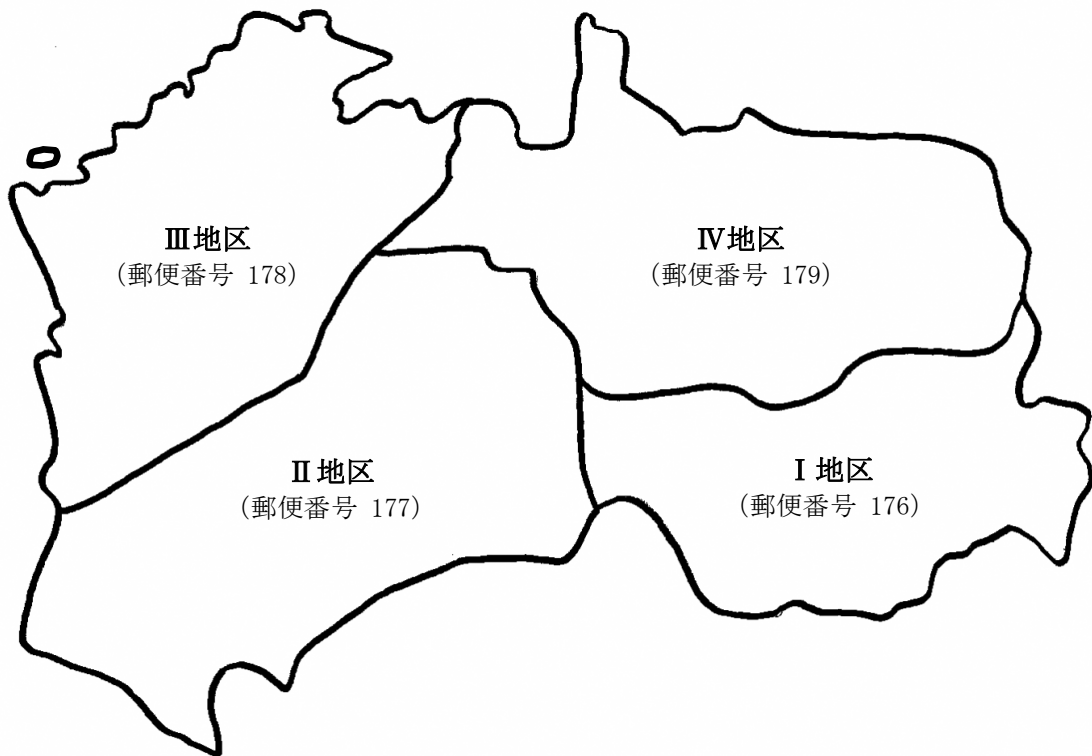


表 1 地区区分一覧

区 分	町 名
I 地区 (〒176)	練馬、桜台、羽沢、小竹町、旭丘、栄町、豊玉上、豊玉北、 豊玉中、豊玉南、貫井、向山、中村北、中村、中村南
II 地区 (〒177)	三原台、谷原、高野台、富士見台、南田中、石神井町、 下石神井、上石神井南町、上石神井、石神井台、関町北、 関町東、関町南、立野町
III 地区 (〒178)	大泉学園町、大泉町、東大泉、南大泉、西大泉、西大泉町
IV 地区 (〒179)	旭町、光が丘、田柄、春日町、高松、土支田、北町、錦、 平和台、氷川台、早宮

6 地区区分別回収状況

	成人人口	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	616,987	3,000	1,089	36.3%
I 地区 (〒176)	151,673	751	256	34.1%
II 地区 (〒177)	177,994	838	298	35.6%
III 地区 (〒178)	115,461	579	213	36.8%
IV 地区 (〒179)	171,859	832	294	35.3%
(地区無回答)	-	-	28	-

7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。
このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシート（一部質問）として、次の11項目をとりあげた。巻末集計表には、このうち8項目とのクロス集計結果を掲載してある。

①地区別	②性別	③年齢別	④性・年齢別
⑤職業別	⑥ライフステージ別	⑦家族構成別	⑧家族人数別
⑨住居形態別	⑩住居所有形態別	⑪通勤・通学場所別	

- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数と異なる場合がある。

8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満20歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を示した。

標本誤差および＜標本誤差早見表＞は、以下のように使用する。

例えば、問2の「あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか」という質問に対して、「まあ住みよい」と答えた人は1,089人のうち51.3%であった。回答者数が1,089人、回答率が50%前後のときの標本誤差は、＜標本誤差早見表＞では±4.29%であるから、「まあ住みよい」と考えている人は、練馬区在住の満20歳以上の男女全体（母集団）の47.01%から55.59%の間にあると推定できる。ただし信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。

<標本誤差算出式> (信頼度 : 95%)

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団 (練馬区全体)
 n = 回答者数 P = 回答の比率 ($0 \leq P \leq 1$)

<標本誤差早見表> (信頼度 : 95%)

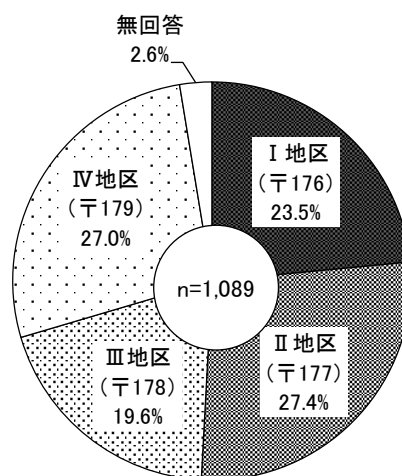
回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,089	± 2.57	± 3.43	± 3.93	± 4.20	± 4.29
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
100	± 8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

(注) N は n より非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

9 回答者の属性

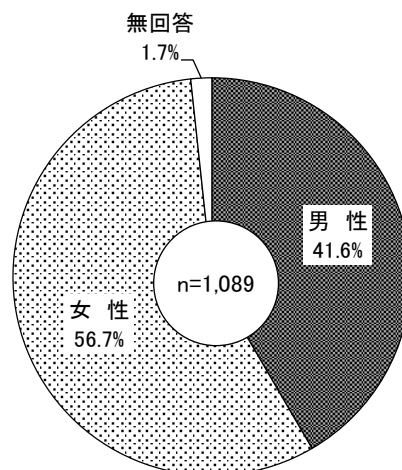
[地区別]

	基数	構成比
1 I地区 (〒176)	256	23.5%
2 II地区 (〒177)	298	27.4%
3 III地区 (〒178)	213	19.6%
4 IV地区 (〒179)	294	27.0%
無回答	28	2.6%
合計	1,089	100.0%



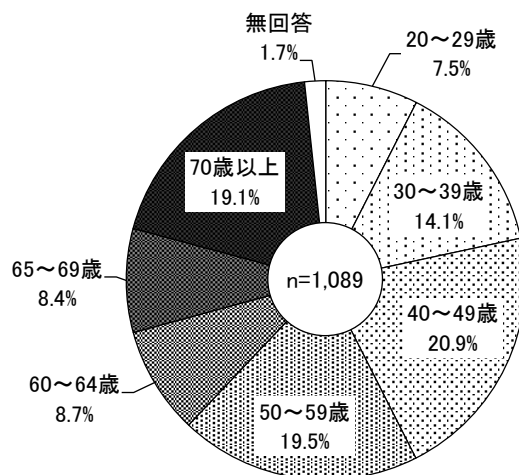
[性別]

	基数	構成比
1 男性	453	41.6%
2 女性	618	56.7%
無回答	18	1.7%
合計	1,089	100.0%



[年齢別]

	基 数	構 成 比
1 20～29歳	82	7.5%
2 30～39歳	154	14.1%
3 40～49歳	228	20.9%
4 50～59歳	212	19.5%
5 60～64歳	95	8.7%
6 65～69歳	92	8.4%
7 70歳以上	208	19.1%
無回答	18	1.7%
合 計	1,089	100.0%



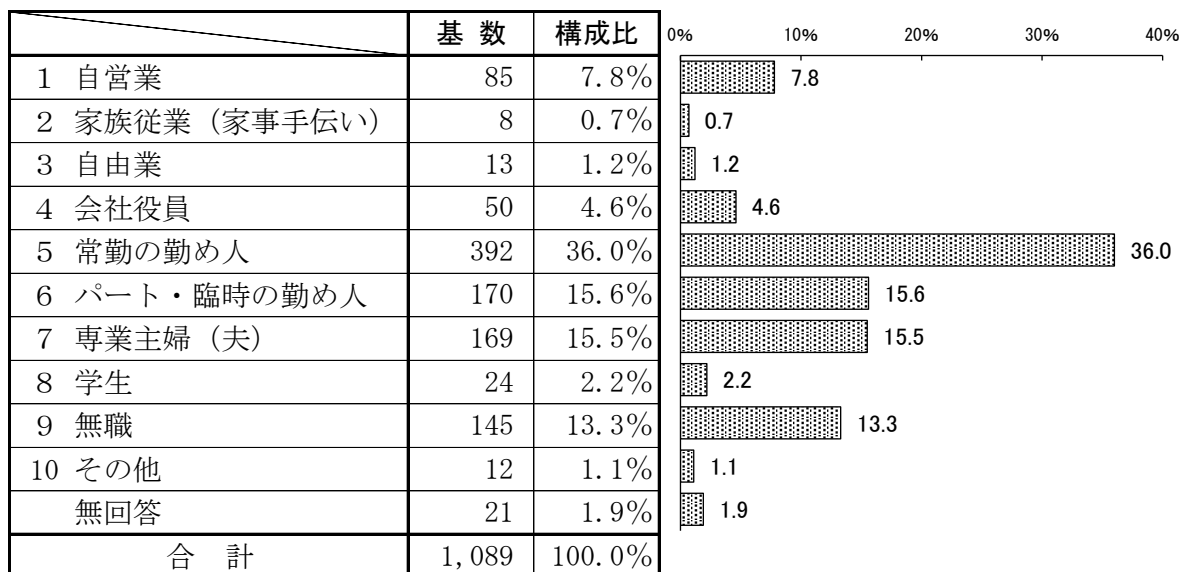
《 地区別 》

	基 数	男 性 (計)								男 性 (計)								(性別無回答)
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)			
全 体	1,089	41.6	2.9	5.2	9.1	8.4	7.8	8.1	0.1	56.7	4.6	8.9	11.8	11.1	9.4	10.9	0.1	1.7
I地区 (〒176)	256	44.5	3.9	5.1	11.7	9.4	6.6	7.8	-	53.9	5.1	8.6	10.5	9.4	9.0	11.3	-	1.6
II地区 (〒177)	298	41.6	2.3	6.4	8.1	7.7	8.7	8.1	0.3	58.1	4.0	8.1	12.8	12.8	11.4	9.1	-	0.3
III地区 (〒178)	213	44.1	2.8	4.7	9.4	8.5	7.5	11.3	-	53.1	5.6	6.6	8.9	12.7	8.5	10.8	-	2.8
IV地区 (〒179)	294	37.1	2.4	5.1	8.5	7.5	8.2	5.4	-	61.6	4.4	12.2	13.6	10.5	8.5	12.2	-	1.4
(地区無回答)	28	42.9	7.1	-	-	14.3	7.1	14.3	-	46.4	-	3.6	14.3	3.6	7.1	14.3	3.6	10.7

<参考>性・年齢別の母集団との比較

		計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)
男 性	母 集 団	48.1	7.6	8.3	9.5	8.5	6.0	8.2	-
	調 査 結 果	41.6	2.9	5.2	9.1	8.4	7.8	8.1	0.1
女 性	母 集 団	51.9	8.2	8.4	9.4	8.2	5.9	11.8	-
	調 査 結 果	56.7	4.6	8.9	11.8	11.1	9.4	10.9	0.1
(性別無回答)		1.7	-	-	-	-	-	-	1.7

[職業別]



《 地区別 》

	n	自営業 (計)				勤め人 (計)				無職 (計)					無回答
		自営業	家族従業 (家事手伝い)	自由業	会社役員	常勤の勤め人	パート・臨時の勤め人	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他				
全 体	1,089	7.8	0.7	1.2	9.7	4.6	36.0	15.6	56.2	15.5	2.2	13.3	1.1	32.1	1.9
I 地区 (〒176)	256	9.0	0.4	2.3	11.7	4.7	44.5	11.3	60.5	14.5	1.2	10.2	0.4	26.2	1.6
II 地区 (〒177)	298	9.4	1.7	0.7	11.7	4.7	29.9	16.8	51.3	17.4	2.0	14.8	2.0	36.2	0.7
III 地区 (〒178)	213	8.0	0.5	0.5	8.9	3.8	31.5	16.0	51.2	16.0	3.8	15.5	1.4	36.6	3.3
IV 地区 (〒179)	294	5.4	0.3	1.4	7.1	4.8	38.1	18.4	61.2	15.3	2.0	11.9	0.7	29.9	1.7
(地区無回答)	28	3.6	0.0	0.0	3.6	7.1	35.7	10.7	53.6	3.6	3.6	25.0	0.0	32.1	10.7

(注) 自営業 (計) は、自営業、家族従業 (家事手伝い)、自由業を合わせたもの
 勤め人 (計) は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの
 無 職 (計) は、専業主婦 (夫)、学生、無職、その他を合わせたもの

[ライフステージ別]

	基 数	構 成 比	
1 独身期	100	9.2%	9.2
2 家族形成期	121	11.1%	11.1
3 家族成長前期	120	11.0%	11.0
4 家族成長後期	101	9.3%	9.3
5 家族成熟期	149	13.7%	13.7
6 高齢期	285	26.2%	26.2
7 その他	167	15.3%	15.3
無回答	46	4.2%	4.2
合 計	1,089	100.0%	

《 地区別 》

(%)

	n	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	高齢期	その他	無回答
全 体	1,089	9.2	11.1	11.0	9.3	13.7	26.2	15.3	4.2
I地区 (〒176)	256	12.9	10.5	9.0	9.0	11.7	24.2	18.4	4.3
II地区 (〒177)	298	8.1	12.8	9.4	11.4	15.8	26.8	14.1	1.7
III地区 (〒178)	213	8.5	7.0	14.1	8.0	15.0	29.6	12.7	5.2
IV地区 (〒179)	294	7.8	13.9	12.2	8.8	12.6	23.8	16.7	4.1
(地区無回答)	28	7.1	-	10.7	3.6	10.7	35.7	7.1	25.0

(注) ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

- 1 独身期 …………… 40歳未満の独身者
- 2 家族形成期 ……… 40歳未満の子どもがいない夫婦
または一番上の子どもが小学校入学前の人
- 3 家族成長前期 …… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 4 家族成長後期 …… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 5 家族成熟期 ……… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 6 高齢期 …………… 65歳以上の人
- 7 その他 …………… 40～64歳の独身者、40～64歳の子どもがいない夫婦など

[家族構成別]

	基 数	構 成 比	
1 夫婦のみ（一世代家族）	257	23.6%	23.6
2 親と未婚の子ども	550	50.5%	50.5
3 親と子ども夫婦（二世代家族）	40	3.7%	3.7
4 親と子どもと孫（三世代家族）	38	3.5%	3.5
5 ひとりぐらし	150	13.8%	13.8
6 その他	25	2.3%	2.3
無回答	29	2.7%	2.7
合 計	1,089	100.0%	

《 地区別 》

	n	夫 婦 の み （ 一 世 代 家 族 ）	親 と 未 婚 の 子 ど も	親 と 子 ど も 夫 婦 （ 二 世 代 家 族 ）	親 と 子 ど も と 孫 （ 三 世 代 家 族 ）	ひ と り ぐ ら し	そ の 他	無 回 答
全 体	1,089	23.6	50.5	3.7	3.5	13.8	2.3	2.7
I 地区（〒176）	256	25.0	44.1	2.0	3.9	19.9	3.1	2.0
II 地区（〒177）	298	23.8	54.0	5.0	2.7	12.1	2.3	-
III 地区（〒178）	213	22.1	52.6	3.8	5.6	12.7	2.8	0.5
IV 地区（〒179）	294	25.2	54.8	3.7	2.7	11.6	1.0	1.0
（地区無回答）	28	3.6	10.7	3.6	-	7.1	3.6	71.4

[家族人数別]

	基数	構成比
1 1人	151	13.9%
2 2人	349	32.0%
3 3人	262	24.1%
4 4人	217	19.9%
5 5人	61	5.6%
6 6人	13	1.2%
7 7人以上	16	1.5%
無回答	20	1.8%
合計	1,089	100.0%

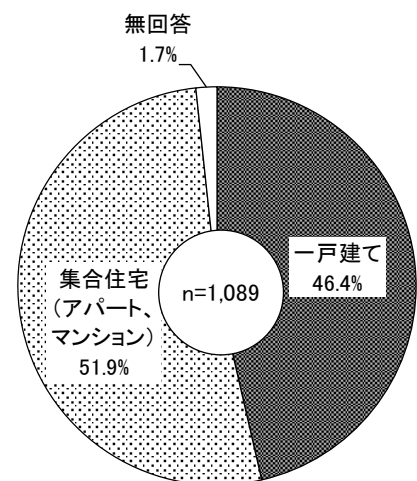
《 地区別 》

(%)

	n	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	1,089	13.9	32.0	24.1	19.9	5.6	1.2	1.5	1.8
I地区 (〒176)	256	19.9	34.8	20.3	16.8	5.1	1.2	1.6	0.4
II地区 (〒177)	298	12.1	32.6	25.8	19.8	6.7	1.7	1.0	0.3
III地区 (〒178)	213	12.7	29.6	25.4	22.1	8.0	0.9	1.4	-
IV地区 (〒179)	294	11.9	33.7	26.2	22.8	3.1	1.0	1.4	-
(地区無回答)	28	7.1	3.6	7.1	3.6	7.1	-	7.1	64.3

[住居形態別]

	基数	構成比
1 一戸建て	505	46.4%
2 集合住宅 (アパート、マンション)	565	51.9%
無回答	19	1.7%
合計	1,089	100.0%

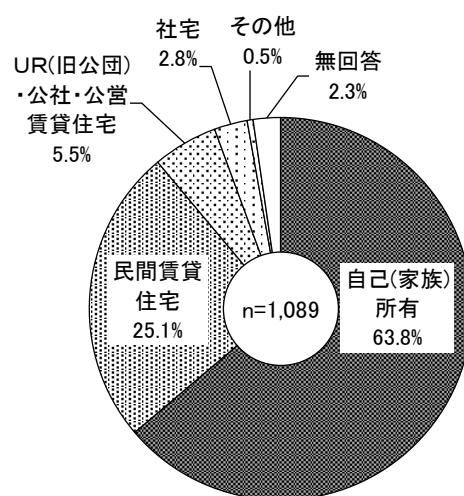


《 地区別 》 (%)

	n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体	1,089	46.4	51.9	1.7
I地区 (〒176)	256	39.1	60.2	0.8
II地区 (〒177)	298	46.6	53.4	-
III地区 (〒178)	213	67.1	32.9	-
IV地区 (〒179)	294	40.1	59.9	-
(地区無回答)	28	17.9	21.4	60.7

[住居所有形態別]

	基数	構成比
1 自己(家族)所有	695	63.8%
2 民間賃貸住宅	273	25.1%
3 UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	60	5.5%
4 社宅	31	2.8%
5 その他	5	0.5%
無回答	25	2.3%
合計	1,089	100.0%

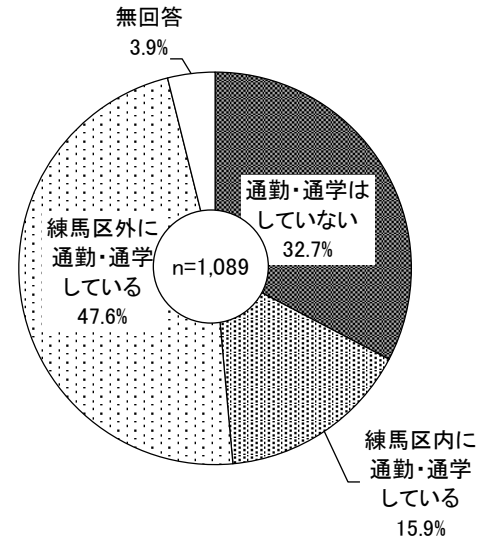


《 地区別 》 (%)

	n	自己(家族)所有	民間賃貸住宅	UR公社(旧公団)・公営賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全体	1,089	63.8	25.1	5.5	2.8	0.5	2.3
I地区 (〒176)	256	61.7	31.3	4.3	1.2	-	1.6
II地区 (〒177)	298	67.8	27.2	1.7	2.7	-	0.7
III地区 (〒178)	213	76.5	18.8	3.3	0.5	0.9	-
IV地区 (〒179)	294	56.8	22.8	12.6	6.1	1.0	0.7
(地区無回答)	28	17.9	17.9	-	3.6	-	60.7

[通勤・通学場所別]

	基 数	構 成 比
1 通勤・通学はしていない	356	32.7%
2 練馬区内に通勤・通学している	173	15.9%
3 練馬区外に通勤・通学している	518	47.6%
無回答	42	3.9%
合 計	1,089	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	い な 通 勤 ・ 通 学 は し て い な い	通 練 学 馬 し て い る 区 内 に 通 勤 ・ 通 学 し て い る	通 練 学 馬 し て い る 区 外 に 通 勤 ・ 通 学 し て い る	無 回 答
全 体	1,089	32.7	15.9	47.6	3.9
I地区 (〒176)	256	27.0	16.4	53.9	2.7
II地区 (〒177)	298	38.3	15.1	44.3	2.3
III地区 (〒178)	213	36.2	18.8	42.3	2.8
IV地区 (〒179)	294	31.0	15.6	51.4	2.0
(地区無回答)	28	17.9	-	25.0	57.1